



Title	「ドラフター利用の手引き」への修正ならびに追加事項
Author(s)	
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1973, 10, p. 81-82
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/65193
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

「ドラフター利用の手引」への修正ならびに追加事項

(I) 利用方法

1.

1) C ジョブ特殊許可願の申請は不用となりました。

2) CALL RENAME (6,:SPR:) のカードは不用となりました。

2. 計算結果を返却されたとき、プログラミング上の誤りが完全になくなつたことならびに
作画範囲をこえないことを必ず確認していただきます。しかるのちに、センター計算依
頼受付で製図機使用の予約を行ないます。

1) 予約時間の申し込みは30分単位で、1回の使用につき使用時間は原則として90分以内

とします。但し使用件数が少ない場合はこの限りではありません。

2) 作画内容の含まれている磁気テープの保存は計算処理日から2週間までとします。

3) 豊中、沖之島地区から電話で予約申し込みをされる場合は、内線2815に連絡して下さい。

4) センター提供の試験用紙の大きさは、1.2m×1.0m 清書用紙は1.1m×0.75m であ

りますが、利用者持参の用紙でも結構です

5) 遠隔地利用者は、計算依頼Bカードにドラフター使用と明記して下さい。作図はセン
ターが行ない、郵送にして返却いたします。

6) 使用可能なペンは原則として、ボールペン黒、赤、青(0.4mm)とします。

(II) 操作上の注意事項

1) カーソル移動用キー、マシン・ゼロ・キーは必要でないかぎり押さないようにして
下さい。

2) 作画中は現場を離れないようにして下さい。

3) ボールペン・ペンの使用に際しては、自動製図室掲示板上の注意事項をよく読んで
下さい。

(III) サブルーチンの追加

1. ドラフターサブルーチンの追加

1) NOSEQ(N); ここにNは2ヶタまでの自然数。利用方法は、

(イ) CALL DAPSTR (-1, 100)

CALL NOSEQ (1)

SUB PROGRAM1 1図

CALL NOSEQ (2)

SUB PROGRAM2 2図

```
CALL NOSEQ (3)
SUB PROGRAM 3 ..... 3図
CALL DAPEND
STOP
END
(ロ) CALL DAPSTR (-1, 200)
CALL NOSEQ (1)
A図の途中まで
CALL NOSEQ (2)
A図の途中から
CALL DAPEND
STOP
END
```

操作方法はまずははじめにDAPSTR の SEQUENCE NUMBER をサーチし、次にNOSEQのNをサーチして実行すればよい。N図のみを作図したい場合はOPTIONALスイッチをONにしておけばよい。なお、特に（ロ）の使い方をされる方はマシンゼロスイッチでペンを原点にもどし、用紙を前回と同じ位置にセットして下さい。

◎APEN (K, IT)

タレット選択を行います。

K = i タレットiを選択 (i = 1, 2 6)

IT > 0 は三角形を描きます。

IT ≤ 0 は三角形を描きません。

(IV) プログラミング、作画例

理学部高分子化学教室田中章氏から 100 ステップ程度のプログラムと作画例、ならびに簡単な解説を寄せていただいたので、感謝いたします。「モンテカルロ法による高分子鎖の作図」の項をごらん下さい。